

幼稚園生活を楽しく過ごす援助の工夫

—自ら選ぶ活動をとおして—

浦添市立沢岬幼稚園

島袋悦子

目 次

I	テーマ設定の理由	1
II	研究の目標	1
III	研究の仮説	1
IV	研究構想図	2
V	研究内容	3
1	幼児理解	3
2	幼児理解と対象の仕方	3
3	幼児期の遊び	3
4	遊び方の理解	4
5	幼児期の発達	4
6	教師の援助	7
7	環境構成	9
VI	保育実践	11
1	日案	11
2	たご作りコーナー指導案	13
3	反省と考察	14
VII	指導計画	15
VIII	研究のまとめと今後の課題	20
1	研究のまとめ	20
2	今後の課題	20

《参考文献》

幼稚園生活を楽しく過ごす援助の工夫

—自ら選ぶ活動をとおして—

I テーマ設定の理由

最近の地域社会においては、核家族化や、少子化の傾向にあり、異年齢・同年齢集団とのかかわりが少ないことや、多くの友だちと遊ぶ機会や場が少なくなっている。本園の地域でも交通事情や公園等が未整備のため遊び場が得にくくなっている。そのため幼稚園での生活でも自ら好きな活動へ積極的にかかわって遊ぶことの出来ない子もいる。

幼稚園教育要領の中で

- (1) 幼児期にふさわしい生活が展開されるようにすること
- (2) 遊びを通しての総合的な指導が行われるようにすること
- (3) 一人一人の特性に応じた指導を行うようにすること

の三点が挙げられている。

幼稚園においては、これまで教師が設定する一斉保育から、子ども達が自ら好きな活動を選び取り組む活動へと保育形態が変わってきた。その中で、積極的に自分の好きな活動に取り組む子や友だちとの活動の中に入るのに時間のかかる子、活動の中においても十分遊ぶことができない子。友だちの遊びを傍観的に見ている子、興味のある活動だけに一生懸命な子等個人差も大きい。このように、同じ環境の下におかれても、一人一人の受けとめ方はそれぞれ違うものがある。

幼稚園における教育とは、一人一人の幼児が教師や多くの友だちと集団生活をする中で人的・物的環境とかかわり発達に必要な経験を自ら獲得していけるよう援助することである。

そのため、教師は幼児との信頼関係を早く確立させ、幼児が安定し園生活をのびのび行動できるようにするために、教師も進んで活動に加わり、一人一人の思いを十分受けとめ、その中から何をしたいか、どんなことに興味・関心を示しているかを捉え、幼児一人一人が望ましい発達をするよう、日々の子どもの活動の記録を取りそれらを活かし指導計画を作成する。

以上のことから、幼児一人一人が自分なりのめあてや期待感を持って教師や友だちと触れあい自己発揮をし、自から好きな活動へ積極的に取り組んで、幼稚園って楽しいと思えるようになることを願い本テーマを設定した。

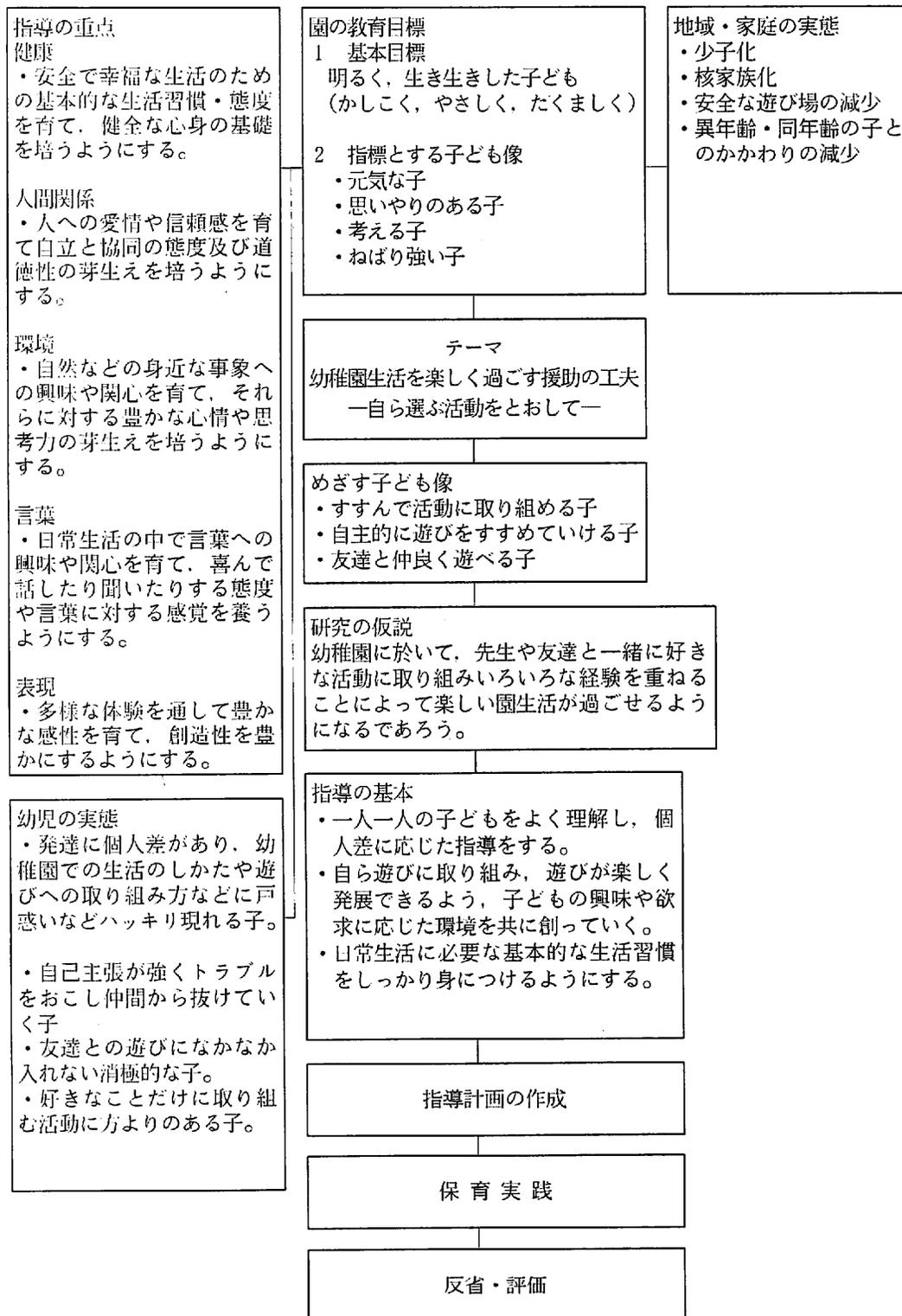
II 研究の目標

自ら選ぶ活動の中で幼児が個性を発揮し興味・関心を示し、友達と一緒に過ごす楽しさを味わうことで、集団生活を楽しむようにする。

III 研究の仮説

幼稚園に於いて、先生や友達と一緒に好きな活動に取り組みいろいろな経験を重ねることによって、楽しい園生活が過ごせるようになるであろう。

IV 研究構想図



V 研究内容

1 幼児理解

教師は幼児と共に生活をしながら、幼児の言動や行動から今何に興味を持っているか、何をしようとしているか、何を感じているか、どんな経験が必要かを捉え幼稚園生活の全体を通して幼児の発達の実情を的確に把握することである。

2 幼児理解と対象の仕方

対象	心身発達の実情の理解	行動のもとにある欲求・興味や生活経験の理解	個人的特徴とその形成基盤の理解
理解の仕方	<ul style="list-style-type: none"> ・客観的理解 幼児の行動やその行動のもとにあると考えられるものについての客観的事実をとらえる。 ・主観的理解 (その保育者なりの理解) 幼児の行動の中に含まれている心の声を感じとり自分の感情や価値観に反応しないでその感じ取ったものの中に問題を発見する。 	<p>幼児とかかわりを持ちながら、幼児の反応を確かめたり、その反応は自分のどのような態度や感情を反映しているかを見つめたりすることで、幼児の姿を保育者の肌で感じるようにする。</p>	<p>幼児の親子関係や生活経験・基本的生活習慣・運動機能・社会性・感情表現など基本的資料を収集してそれを幼児理解に活かすようにする。</p>

3 幼児期の遊び

幼児が自ら興味や関心をもって環境にかかわり、心や体を動かして活動をつくり出し展開する働きの全体である。

遊ぶことを通して達成感、挫折感、葛藤、充足感を味わい、様々な体験を重ねることで心身の調和のとれた発達の基礎を身につけていく。

幼児期の重要な学習である遊びは、一人一人の発達に応じた柔軟な指導が必要である。従って幼児の遊びの展開は様々な面から必要な体験が総合的に得られるようにすることが大切である。

4 遊び方の理解

遊び方のタイプ	遊びの様子
ものへの関心が優位にある幼児	遊具や遊びそのものへの興味から始まり、その場にいる子と遊ぶ。
人への関心が優位にある幼児	遊び相手を見つけてから遊びを始める。
動きの多い幼児 (遊びが転々としていく子)	自分の力だけで遊びを展開しようとせず、相手を求めて遊ぼうとするがうまくいかず遊ぶ場所が変わる子。
動きの少ない幼児 (遊び場所をかわらないでいる子)	自分の力で遊びを展開しているが、遊びの内容は転々と変化していることが多い。
一人遊びの幼児	社会性の発達が遅れている幼児に見られ、自分の遊びに夢中に取り組んでいる。遊びの中で自己充実をしていく。

5 幼児期の発達

幼児期に入ると子どもは、自分の意志や意図を主張し始めるようになるが他者の意図もある程度理解し、自我感情や対人感情も強まってくる。対人交渉の技能も身につけはじめる。それは自然に成長していく力と周囲の環境に対して自分から能動的に働きかけようとする力を持っていることである。自然な心身の成長や、能動性を発揮して環境とかかわりあう中で生活に必要な能力や態度などを獲得していく過程を発達と考える。

これまで能力や態度の獲得については大人に教えられたとおりに幼児が覚えていくという側面が強かったが、最近では幼児自身が自発的、能動的に環境とかかわりながら生活の中で状況と関連づけて身につけていく側面の重要性が指摘されている。

5才児の発達を次の3つの面から捉える

- (1) 身体面の発達 ———— 運動機能の発達
- (2) 精神面の発達
 - 知的発達
 - 情緒の発達
 - 自我の発達
- (3) 社会面の発達
 - 人間関係の発達
 - 遊びの発達

発達の特徴		
身体面の発達	身体面	<ul style="list-style-type: none"> ・身長が増加が体重の増加より著しくなる。(伸長期に入る) ・頭囲より胸囲が大きくなる。 ・視力(軽度遠視) ・永久歯がはえ始める。
	運動面	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な運動機能が完成する。 ・片足立ちができる。 ・スキップができる。 ・小さなものを巧みに扱える。 ・おはしが上手に使えるようになる。 ・三角形を模写する。 ・平衡性、柔軟性、敏捷性が急速に増して狭義の運動スタイルが獲得され、運動全体がリズムカルになる。
精神面の発達	知的発達	<ul style="list-style-type: none"> ・求知心が強くなる。 ・想像と現実との区別が十分につかないことが時々ある。 ・一つのことを始める前に一定の計画がもてる。 ・用途によって物の定義をする。 ・手の指の数が正しく言える。 ・左右の区別ができる。 ・大人との話が自由にできる。 ・昨日・今日・明日の区別が分かってくる。 ・具体的推理ができる。

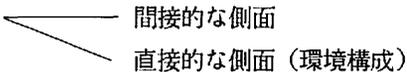
発達の特徴	
精神面の発達	<p>情緒の発達</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泣くことが非常に少なくなる。 ・恐怖心がやや少なくなるのが普通である。 ・情緒は分化して大人に見られる大部分の情緒が現れる。 <p>{ はにかみ・恐れ・心配・怒り・しっと・うらやみ・失望・不快 } { いみきらい・愛情・小さい者への愛情・のぞみ・喜び・快等 }</p>
発達	<p>自我の発達</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊びなどの中で体験する恐れや、罪悪感が無意識のうちに極端な行動を抑制するようになる。
社会面の発達	<p>人間関係の発達</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独立的で自信を持ち従順になるので物事をまかせられる。 ・ちいさい者をいたわる。 ・2人ないし5人ぐらいのグループで協同的に遊べる。 ・自己主張をし他人への依頼感を持ち、社会的協同性を持つようになる。 ・友達と遊ぶことを好む。
発達	<p>遊びの発達</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の周囲の社会生活を遊びに取り入れる。 ・役割を決め仕事を分担して遊びができる。 ・自分のやりたいことをハッキリ遊びに取り入れて遊ぶことができる。 ・遊びに必要な物を自分たちで作って遊ぶことができる。

6 教師の援助

幼稚園生活が一人一人の幼児にとって安心して過ごせ、自己発揮をし、心身の発達が促されるように幼児の行動を温かく見守り、適切な援助を行い幼児期にふさわしい生活の展開がされるような場所にすることが大切である。

教師の援助の考え方・とらえ方

(1) 教師の援助の基本的な考え方

- ① 教師の援助 
 - 間接的な側面
 - 直接的な側面（環境構成）
- ② その時期に環境とかかわる子どもたちが求めてくると思われることを予想する。
- ③ 援助を予想するには子どもたちの日頃の生活を記録に残し、教師に求めていることを把握する。
- ④ 子どもたちの活動をどこまで見守り、どこで手助けや指示をするかを見極め、次第に主体的に生活を展開出来る方向に向けていく。

(2) 具体的な援助を考えるポイント

- ① 教師自身のかかわり方や動き方をあらかじめ考えておく。
- ② 一人一人の子どものもてる力を十分に発揮させ、自分たちで物事を進めていけるようにどこまで準備し、どこから一緒に活動を展開していくかを考える。
- ③ 適切に援助が出来るようにどの子どもとも十分コミュニケーションしてかかわっていく。
- ④ 子どもたちが教師に求める直接的な援助のあり方の方向性を考える。
- ⑤ 援助の方向性は時期により個々の状態により柔軟に判断していく。

(3) 保育の展開と援助の仕方

保育の展開と教師のかかわり（環境をどのように構成していくか）

- ① その日の環境は子どもたちも一緒にかかわりながら共に力を合わせ創っていく。
 - ア 教師が準備をしておく環境 + 子どもと一緒に創っていく環境。
 - イ 子どものいきづまった所を教師は一緒になって手助けをする。
- ② 子どもの柔軟な発想を大事にする
 - ア 大人の価値観で決めるのではなく、子どもの発想をよりうまく利用することができるようにすることが大切である。
- ③ 活動の展開に必要な素材や材料は子どもと共に探すようにする
 - ア 準備された環境からだけでなく、広い範囲から必要な物を見つけるようになってくる
保育室 — 戸外 — 園外（家庭や地域） = 環境を自由に探索出来るようになることが望ましい。

- ④ 子どもが自由に活動を展開できる時間を活動の状態に応じて調整する
 - ア いつも同じ園生活の時間帯に決めるのではなく、活動の内容や、盛り上がり方などによって環境としての時間を調整することが大事である。
- ⑤ かたづけは子どもたちの活動の意識の連続性を大事にする
 - ア 今日の遊びを明日への活動につなげる環境にするようなかたづけ方をして遊びの連続性を大切にする。

(4) 保育の展開と具体的な援助

(失敗・いきづまり・葛藤・心が不安になったとき)

- ア 出来るだけ自分で解決できるようにする。
- イ 教師はそれを受けとめてあげる。

① 心が不安になった時、教師は受容的にかかわり安心感を生み出す

- ア いろいろな甘え方を認めてあげる。
- イ 慰めてもらえることで気持ちを回復できる。
- ウ 悲しみを教師や友達に受け取ってもらうことで気分が軽くなる。
- エ さびしさを教師が共感的に受けとめてあげる。
- オ その子らしい良さや得意な面などありのままの幼児の姿を認めてあげる。
- カ 一人一人どの子どももクラスの一員として大事だと認めてあげる。

不安はだんだんとりのぞかれる

② 教師が子どもたちと一緒に活動するなかで共感的援助をする

(幼児の行動を認めてあげる、必要に応じてアイデアやヒントをだしてあげる)

- ア 子どもと一緒に活動を展開しながら、うまく出来ないときには教える。
- イ 自分の思いをうまく表現したり、説明出来ない時は、代わって状況の説明をしてあげる。
- ウ 子どもの活動が行き詰まった時は一緒に考えていく。
- エ いろいろな可能性を示唆したり、おもしろそうなアイデアやヒントを出してあげる。
- オ 教師もチームの一員として参加し楽しさを子どもたちに表現する。

③ 子どもを励ましもてる力を発揮させ成長していくよう志向的に援助する

(自分たちで出来る部分は励まし任せて見守り、その子どもの力を発揮させるようにする)

- ア 教師がごく自然に生活態度として実施しモデルになる。
- イ 困難に自ら挑戦していく意欲を高めるよう励まし見守る。
- ウ 子どもの成長に具体的な期待を持ち一緒に考えていく。
- エ 子どもの悔しい思いに教師も一緒に共感する。
- オ 園生活の中で許されないことをした時はしかる。(信頼関係はしっかり成立させておく)

(5) 教師として心がけること

- ① それぞれの子に合わせて言葉のかけ方を変えていく。
- ② 目の前の子と心と心が分かり合えるようにかかわる。
- ③ 子どもたちの実態に合わせて柔軟に対応していく。
- ④ 教師感の相互理解を図り信頼関係を確立させる。
- ⑤ いろいろな場面でクラス意識をこえて子どもとかわる。
- ⑥ 子どもの求めていることを理解し、心の余裕と時間的なゆとりをもって活動を見守る。

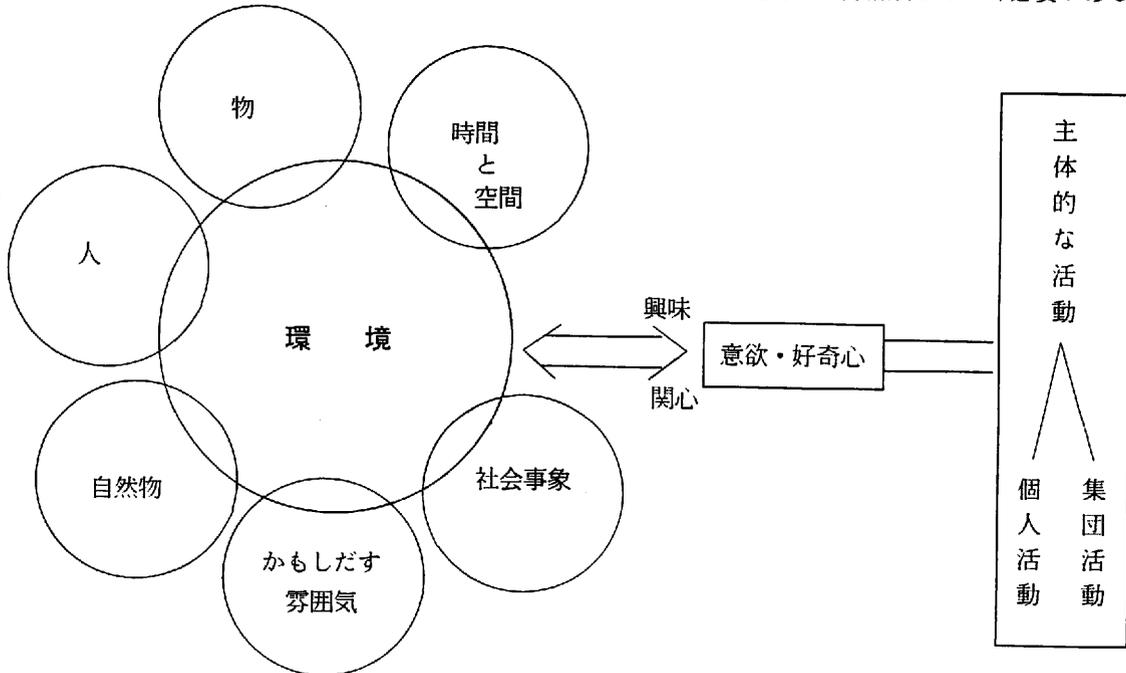
幼児一人一人を理解し、適切な援助をするために保育終了後その日の活動の内容を園内環境図に記入し、教師感で話し合いをする。

教育的な配慮の下に幼児が友達とかかわって活動を展開するのに必要な遊具や素材、十分に活動するための時間と空間や幼児が生活の中で触れあえる自然や動植物など様々な環境が用意され、こうした環境の下で直接的・具体的な体験を通して一人一人の幼児の発達を促していく援助を行うことが大切である。

7 環境構成

環境を構成するということは、遊具や用具、素材などを組み合わせたりすることだけでなく人や物、自然や社会の事象、時間や空間、かもしだす雰囲気など様々な要素が含まれることであり、それらを相互に関連させながら、幼児の興味や関心に即して主体的な活動を促し、その活動の中で必要な体験を重ねていけるような状況をつくっていくことである。

環境の構成は固定的なものではなく、幼児の展開によって流動的に再構成していく必要がある。



(1) 環境構成の考え方・とらえ方

① 環境構成の基本的な考え方

ア 子どもにとって身近な環境とはすばらしい環境を準備してあげることでなく、どんな物でも子どもが活用してはじめて環境と言えるのである。

イ 環境を構成するとは物的、人的、自然の事象、時間、教師の言葉など総合的に捉えそれらに積極的にかかわっていけるような状況を作っていくことである。

(2) 環境構成の基本的な視点

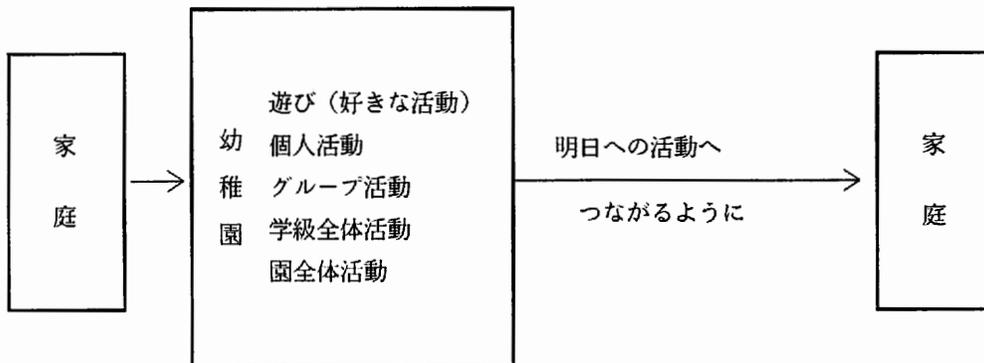
ア 幼児の生活する姿に即して、環境が具体的なねらいや内容にふさわしいものとなるようにする。

イ 発達の時期に即した環境 } 入園当初の不安や緊張のある時期
園に慣れ友達関係が深まった時期

- ① 子どもたちの興味や関心を教師も受けとめ実現に向かうようにする。
- ② 新たな活動が生み出されるように、子どもの視野が広がるようにする。
- ③ 自ら園生活に主体的に取り組んでいけるようにする。
- ④ 子どもたちの発達の実情に即して環境を構成していくようにする。
- ⑤ 園生活のそれぞれの時期に応じた流れに沿っての環境にする。

(3) 環境構成を考えるためのポイント

- ① 園の指導計画における環境構成は、具体的なねらいや内容から予想する。
- ② 個々の子どもの環境とかわりながら発揮する姿を大事にする。
- ③ 子どもたちの経験に深みを与え発達を促していけるような環境にする。
- ④ 子ども同士が自然に交流し経験を広げていけるような環境にする。
- ⑤ その時期にしか経験することができないような環境にする。
- ⑥ 生活の流れに沿って、子どもたちの関心や意識が連続していくような環境にする。



口案		平成7年1月24日(火) 晴	ね ら い	好きな活動に意欲的に取組み友達と楽しくあそぶ 教師の援助・環境構成(刺激となる活動◇)		副園長 とり組 はな組	男20 女15 計35 男19 女17 計36	野原なをみ 島袋松子・前里優子 宮城清美
時間	8:15	幼児の活動	絵本・紙芝居作りをする (できた作品を認めほめてあげる 最後まで頑張って仕上げるよう励ます)	好きな活動をする 絵本・紙芝居作りをする (ひものまきかた、まわし方などじっくり教えてあげる 意欲的に取組んでいる子を認め他の子どもたちへの刺激に なるよう雰囲気作りをする)	好きな活動に意欲的に取組み友達と楽しくあそぶ 教師の援助・環境構成(刺激となる活動◇)	全員で取り組む活動		
			こままわしをする (ひものまきかた、まわし方などじっくり教えてあげる 意欲的に取組んでいる子を認め他の子どもたちへの刺激に なるよう雰囲気作りをする)	好きな活動に意欲的に取組み友達と楽しくあそぶ 教師の援助・環境構成(刺激となる活動◇)				
	10:10	かたづけをする (明日も楽しく遊べるようきれいに片付けるよう励ましながら教師も一緒に手伝う)	カルタ・トランプ・すごろくをする (友達と楽しく正月遊びが出来るよう環境を作っておく)	好きな活動に意欲的に取組み友達と楽しくあそぶ 教師の援助・環境構成(刺激となる活動◇)				
	10:30	おやつ (楽しくおやつができるよう、みんなで協力して準備をするよう声かけをする かたづけたあとはみがきをするよう声かけをする)		好きな活動に意欲的に取組み友達と楽しくあそぶ 教師の援助・環境構成(刺激となる活動◇)				
	11:10	カルタとりをする (クラス全体で取り組む活動) (教師が読み手になりみんな楽しくカルタとりをする みんなの使い慣れたカルタを使うようにする)		好きな活動に意欲的に取組み友達と楽しくあそぶ 教師の援助・環境構成(刺激となる活動◇)				
	11:45	話し合いをする (今日の楽しかった活動の話しを聞き、明日もまた充実して遊べるよう期待を持たせるようにする)		好きな活動に意欲的に取組み友達と楽しくあそぶ 教師の援助・環境構成(刺激となる活動◇)				
	12:15	降園する (一人一人とあいさつを交わし、道草をせず安全に気をつけて帰るように話す)		好きな活動に意欲的に取組み友達と楽しくあそぶ 教師の援助・環境構成(刺激となる活動◇)				
反省				好きな活動に意欲的に取組み友達と楽しくあそぶ 教師の援助・環境構成(刺激となる活動◇)				
評価の観点				自分の好きな活動に意欲的に取り組んでいたか 教師の援助は適切だったか				

時間	幼児の活動	教師の援助・環境構成
8:15	<ul style="list-style-type: none"> ・たこ作りをする (ビニールたこを作る) ・型紙でたこの型を写す ・ビニールへ好きな絵を描く ・ハサミで切る ・たけひごをつける ・たこ糸をつける ・使った物を片づける 	<ul style="list-style-type: none"> ・たこ作りに必要な材料を準備する ・タコ糸 ・ひご ・ビニール ・チラシ ・厚紙 ・ガムテープ ・はさみ ・マジック ・セロテープ ・ビニールたこの作り方を取り組む子の順に説明する ・ひごの使い方やたこ糸の付け方など上手に出来ない子に対して援助する ・頑張ったことや、工夫した所を認め自信を持たせる ・作ったたこが上手にあがらない子に対してはどうしてあがらないのか気付くような声かけをする ・使った用具など片づけてからたこあげに行くように声をかける
9:45	<ul style="list-style-type: none"> ・片づけをする 	<ul style="list-style-type: none"> ・出来上がったたこは大事に片づけるようにしまだ出来上がっていない子には明日続きを頑張るよう声かけをする ・制作をした後をみんなで片づけるように声をかけ、今日取り組んでない子も徐々に取り組めるような雰囲気を作っておくようにする



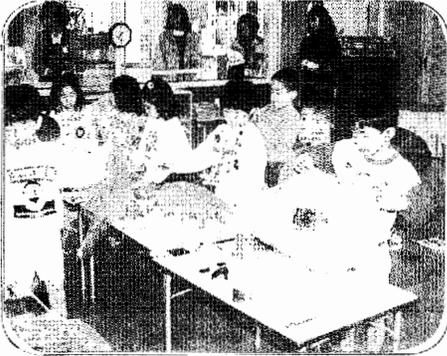
たこあがったよ!



せんせいからんじゃった

3 反省と考察

- ・ビニールたこ作りにどの子も喜んで取り組む姿が見られた。
- ・友達と仲良く楽しみながら絵を描く姿はとても良かった。
- ・出来上がったたこをあげる姿は満足げで、たこの歌を口ずさみながらあげる子もいた。
- ・クラスをオープンにしてコーナー活動にしたことで、たこ作りにかかわる子が多く援助が不十分な面もあった。
- ・今回のたこ作りはみんな同じ形のたこになったのが、子どもたちの興味・関心が高まるような、環境を創ることが必要だったのではなかったか。



ひごどこにつけるのかな



わたし、おはなのえをかくの

園内環境図

月 日 () 天気 ()

幼児の活動と環境構成	内容	備考

VII 指導計画

発達の日目	I 期														
月	4月 ~ 5月														
幼児の姿	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児が幼稚園に期待と不安をもち、生活の流れへの適応が出来て来るまで不安な幼児が見られる ・ 不安定ながらも自分で遊びを見つける子、教師に安定を求める子、他の子が遊ぶのを見ている子など遊ぶ姿も様々だが教師との信頼関係が出来てくると、スムーズに遊びに入っていく場面が多く見られる 														
発達の過程	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園での生活の仕方を知り、安心して行動するようになる 														
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園での生活の仕方を知り、喜んで登園する ・ 安全な生活態度を身につける 														
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園での生活の仕方を知り、安心して行動する ・ 教師や友達と触れ合う中で安定する ・ 園庭の草花や、小動物に親しみをもつ ・ 教師の話に興味を持ったり、絵本や紙芝居を見たり聞いたりする ・ 健康な生活の仕方が分かり、安全に気をつけて行動しようとする 														
生活指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身のまりの始末・便所・水道の使い方・手の洗い方が出来るようにする ・ 後かたづけが出来るようにする ・ あいさつが出来るようにする ・ 登降園のとき安全な行動をする 														
遊び	<table border="0"> <tr> <td>(室内)</td> <td>制作</td> <td>(戸外)</td> </tr> <tr> <td>ブロック</td> <td rowspan="4"> 折り紙 切り紙 チラシ制作 絵を描く ぬりえをする </td> <td>固定遊具</td> </tr> <tr> <td>ままごと</td> <td rowspan="3"> ブランコ すべり台 登り棒 ロケットタイヤ 雲梯 鉄棒 </td> </tr> <tr> <td>絵本を見る</td> <td rowspan="2"> 砂遊び(穴掘り 山づくり ままごと) 泥遊び 水遊び 巧技台 </td> </tr> <tr> <td>楽器遊び</td> </tr> <tr> <td> タンプリン カスタネット オルガン </td> <td> 集団遊び(リズム遊び 鬼ごっこ ボール遊び) 飼育動物と遊ぶ(ウサギ チャボ カメ) 虫探し おたまじゃくし捕り </td> <td></td> </tr> </table>	(室内)	制作	(戸外)	ブロック	折り紙 切り紙 チラシ制作 絵を描く ぬりえをする	固定遊具	ままごと	ブランコ すべり台 登り棒 ロケットタイヤ 雲梯 鉄棒	絵本を見る	砂遊び(穴掘り 山づくり ままごと) 泥遊び 水遊び 巧技台	楽器遊び	タンプリン カスタネット オルガン	集団遊び(リズム遊び 鬼ごっこ ボール遊び) 飼育動物と遊ぶ(ウサギ チャボ カメ) 虫探し おたまじゃくし捕り	
(室内)	制作	(戸外)													
ブロック	折り紙 切り紙 チラシ制作 絵を描く ぬりえをする	固定遊具													
ままごと		ブランコ すべり台 登り棒 ロケットタイヤ 雲梯 鉄棒													
絵本を見る			砂遊び(穴掘り 山づくり ままごと) 泥遊び 水遊び 巧技台												
楽器遊び															
タンプリン カスタネット オルガン	集団遊び(リズム遊び 鬼ごっこ ボール遊び) 飼育動物と遊ぶ(ウサギ チャボ カメ) 虫探し おたまじゃくし捕り														
指導の要点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもに対して教師の愛情を伝えるようにしながら、どんな状態や欲求も受け入れ安心感を与える接し方をする ・ 遊具や遊びのコーナーを多くし、好きな遊びを見つけることが出来るよう配慮する ・ 行動を共にしながら、友達と遊ぶ楽しさを少しずつわからせる 														
行事	入園式 交通安全指導 家庭訪問 春の遠足														

発達の節目	Ⅱ 期																	
月	6月 ～ 7月																	
幼児の姿	<ul style="list-style-type: none"> ・大半の幼児が生活の流れ、場や教師に安定して自分の好きな遊びを見つけ遊ぶ姿がみられる ・幼稚園生活に慣れ、友達と触れあいつながりも出てくるが自我の主張も強く、衝突がみられるようになる 																	
発達の過程	<ul style="list-style-type: none"> ・個を発揮しながら友達と遊べるようになる 																	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な遊具、場の使い方や遊び方生活のきまりを知り守ろうとする ・気のあった友達と好きな遊びを楽しむ 																	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな遊びを十分に楽しみ満足感を味わう ・幼稚園での生活の仕方を身につけたり、遊具、用具の使い方を知る ・教師や友達に進んでかかわり親しみをもち ・気のあった友達の中で自分の思いを表現する ・簡単なルールが分かり守ろうとする ・身近な自然にかかわり形や色に興味をもち 																	
生活指導	<ul style="list-style-type: none"> ・教師や友達に親しみをもちあいさつをする ・食事の仕方を身につけ友達と楽しく食事をする ・身の回りを清潔にし、衣服の着脱片づけができるようにする ・生活や遊びのきまりがわかり守って生活する ・災害の時の安全な行動の仕方がわかる 																	
遊び	<table border="0"> <tr> <td>(室内)</td> <td>制作</td> <td>(戸外)</td> <td rowspan="2"> ブランコ すべり台 固定遊具 登り棒 雲梯 鉄棒 ロケットタイヤ </td> </tr> <tr> <td>ままごと</td> <td rowspan="2"> 折り紙 チラシ制作 絵の具で遊ぶ (すたんぷ遊び) </td> <td>水遊び(プール遊び 色水作り)</td> </tr> <tr> <td>絵本を見る</td> <td rowspan="2"> 飼育動物と遊ぶ(チャボ ウサギ カメ) シャボン玉 虫捕り(セミ バッタ おたまじゃくし) </td> <td>手遊び ハンカチ遊び</td> </tr> <tr> <td>音楽を聞いて遊ぶ</td> <td>玉入をする</td> <td>なわで遊ぶ(なわとび 電車ごっこ)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>砂遊び(穴掘り 川作り 山作り ままごと)</td> </tr> </table>	(室内)	制作	(戸外)	ブランコ すべり台 固定遊具 登り棒 雲梯 鉄棒 ロケットタイヤ	ままごと	折り紙 チラシ制作 絵の具で遊ぶ (すたんぷ遊び)	水遊び(プール遊び 色水作り)	絵本を見る	飼育動物と遊ぶ(チャボ ウサギ カメ) シャボン玉 虫捕り(セミ バッタ おたまじゃくし)	手遊び ハンカチ遊び	音楽を聞いて遊ぶ	玉入をする	なわで遊ぶ(なわとび 電車ごっこ)				砂遊び(穴掘り 川作り 山作り ままごと)
(室内)	制作	(戸外)	ブランコ すべり台 固定遊具 登り棒 雲梯 鉄棒 ロケットタイヤ															
ままごと	折り紙 チラシ制作 絵の具で遊ぶ (すたんぷ遊び)	水遊び(プール遊び 色水作り)																
絵本を見る		飼育動物と遊ぶ(チャボ ウサギ カメ) シャボン玉 虫捕り(セミ バッタ おたまじゃくし)	手遊び ハンカチ遊び															
音楽を聞いて遊ぶ	玉入をする		なわで遊ぶ(なわとび 電車ごっこ)															
			砂遊び(穴掘り 川作り 山作り ままごと)															
指導の要点	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の子どもを理解し、認め集団での生活の仕方を個々に知らせていくようにする ・遊びの場や遊具の安全を十分に点検して安全面に留意する ・友達に感心が持てるようにする 																	
行事	親子運動会 避難訓練 一学期終業式																	

発達の節目	Ⅲ 期																																
月	9月 ~ 10月																																
幼児の姿	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みが終わって幼稚園に喜んで登園する子や抵抗を示す子もいる ・休み中の事を話したり、いろいろな場で自己を表現しながら集団生活の中に再び適応していく姿がみられる ・集団生活への安定を取り戻し、先行経験をもとにして遊びがひろがりいろいろな方法で自己を表現していく姿がみられる 																																
発達の過程	<ul style="list-style-type: none"> ・集団で行動する事ができるようになる ・自分たちの考えを出し合い、遊びに取り組むことができる 																																
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・自分なりに経験を広め試行したり、考えたりして遊ぶことができる ・友達と相談したり、工夫したりして遊ぶことの楽しさを味わう 																																
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・先行経験を繰り返しながら自己を表現する ・簡単なルールに従って体を動かして遊ぶ ・共通の目的意識のもとに行動出来るようにする ・自分が感じたことや考えたことを友達に伝えたり、話を聞いたりしながら会話を楽しむ 																																
生活指導	<ul style="list-style-type: none"> ・自分から気づいて手洗い、うがいをする ・十分でない部分を取り上げて出来るようにする 																																
遊び	<table border="0"> <tr> <td>(室内)</td> <td>制作</td> <td>(戸外)</td> <td>[ブランコ すべり台 登り棒]</td> </tr> <tr> <td>絵本を見る</td> <td>[魚づくり]</td> <td>固定遊具</td> <td>[雲梯 鉄棒 ロケットタイヤ]</td> </tr> <tr> <td>音楽を聞いて遊ぶ</td> <td>[牛乳パック]</td> <td>飼育動物と遊ぶ</td> <td>(チャボ ウサギ カメ)</td> </tr> <tr> <td>(歌ったり踊ったりする)</td> <td>段ボール</td> <td>水遊び</td> <td>(プール遊び 色水作り)</td> </tr> <tr> <td>ふーぶで遊ぶ</td> <td>[絵を描く]</td> <td>砂遊び</td> <td>(海 プール作り ままごと)</td> </tr> <tr> <td>お店やさんごっこ</td> <td>虫捕り</td> <td>[おたまじゃくし カエル チョウチョ]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[マクドナルド屋 すし屋]</td> <td>[かばまだらの幼虫]</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>[アクセサリー屋 おそば屋]</td> <td>かけっこ</td> <td>竹馬 跳び箱</td> <td>じゃんけん遊び</td> </tr> </table>	(室内)	制作	(戸外)	[ブランコ すべり台 登り棒]	絵本を見る	[魚づくり]	固定遊具	[雲梯 鉄棒 ロケットタイヤ]	音楽を聞いて遊ぶ	[牛乳パック]	飼育動物と遊ぶ	(チャボ ウサギ カメ)	(歌ったり踊ったりする)	段ボール	水遊び	(プール遊び 色水作り)	ふーぶで遊ぶ	[絵を描く]	砂遊び	(海 プール作り ままごと)	お店やさんごっこ	虫捕り	[おたまじゃくし カエル チョウチョ]		[マクドナルド屋 すし屋]	[かばまだらの幼虫]			[アクセサリー屋 おそば屋]	かけっこ	竹馬 跳び箱	じゃんけん遊び
(室内)	制作	(戸外)	[ブランコ すべり台 登り棒]																														
絵本を見る	[魚づくり]	固定遊具	[雲梯 鉄棒 ロケットタイヤ]																														
音楽を聞いて遊ぶ	[牛乳パック]	飼育動物と遊ぶ	(チャボ ウサギ カメ)																														
(歌ったり踊ったりする)	段ボール	水遊び	(プール遊び 色水作り)																														
ふーぶで遊ぶ	[絵を描く]	砂遊び	(海 プール作り ままごと)																														
お店やさんごっこ	虫捕り	[おたまじゃくし カエル チョウチョ]																															
[マクドナルド屋 すし屋]	[かばまだらの幼虫]																																
[アクセサリー屋 おそば屋]	かけっこ	竹馬 跳び箱	じゃんけん遊び																														
指導の要点	<ul style="list-style-type: none"> ・緊張と発散、静と動のバランスのとれた活動ができるようにする ・幼児の手伝えるものは共に準備をしたり、片づけたりして物の扱い方や効果的な使い方に慣れさせ徐々に子ども同士で場や物を活用できるようにする ・みんなと力を合わせることによって活動がなりたっていくという仲間意識をもたせる 																																
行事	二学期始業式 幼・小合同運動会 秋の遠足																																

発達の日目	IV 期		
月	11月 ~ 12月		
幼児の姿	<ul style="list-style-type: none"> ・消極的な子どもも自分の得意な活動がきっかけとなって自信を持ちはじめ、一人一人が次第に个性的になり落ちつきが見え始め幼稚園生活が充実してくる ・友達と力を合わせる楽しさを経験しているので、気のあった友達同士での遊びを好みハッキリした目的でグループを作り、遊び方を相談したり役割を分担したりして遊びを展開するようになる 		
発達の過程	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで自主的に遊んだり、課題に取り組むようになる 		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・グループや友達と話し合っって進んで活動に取り組むようになる ・共通の課題に向かって意欲的に取り組み、協力して遊ぶ楽しさを味わう 		
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の力を発揮しながら、個々に思ったことを表現したり、自分のペースで試したり努力したりして成功感を味わう ・友達とのつながりを深めながら同じ方向に遊びを進めていく ・グループ又は、自主的に展開していく遊びを認識させたり、学級全体の課題としてとりくむ 		
生活指導	<ul style="list-style-type: none"> ・気候に応じて衣服の調節が自分で出来るようにする 		
遊び	(室内) 楽器遊び 〔大太鼓 小太鼓〕 トライアングル タンブリン 鈴 カスタネット ウドブロック シンバル 木琴	制作 絵を描く (戸外) 〔ペーパーサートを作る〕 〔絵本作り〕 人形劇をする フープで遊ぶ リズム遊び 〔オペレッタ〕 踊り	〔ブランコ すべり台〕 固定遊具 〔登り棒 雲梯 鉄棒〕 〔ロケットタイヤ〕 縄で遊ぶ(長縄 短縄) 跳び箱 竹馬 サッカー ドッジボール 木登り(木の実取り) 木工遊び 飼育動物と遊ぶ(ウサギ チャボ カメ)
指導の要点	<ul style="list-style-type: none"> ・季節や事象の変化に触れる機会を持つようにし、教師自身が身近な事象に対して敏感に受けとめ子どもの感性を引き出し豊かになるようにする ・一人一人の子が自信を持って行動している遊びや発想をみんなのものとして広げていくよう援助し、同じテーマに向かって遊びが進められる中で楽しくするための方法を話し合ったり、気づかせたりする ・意見のぶつかりあいのトラブルは、子どもと一緒に解決していったり、子ども同士で解決していけるよう見守っていく 		
行事	避難訓練 生活発表会 二学期終業式		

発達の節目	V 期																														
月	1月 ~ 3月																														
幼児の姿	<ul style="list-style-type: none"> ・正月遊びの経験から文字や数への関心がかまってくる ・グループ同士が交流し、学級全体での大きなまとまりのある活動に発展していくようになる ・小学校への進学に期待を持ち自主的な行動が多くなる ・一つの目的に向かって学級の友達と一緒に協力して遊びを展開するようになる 																														
発達の過程	<ul style="list-style-type: none"> ・もうすぐ一年生になるという自覚を持ち、自主的に行動するようになる 																														
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの力を出し合い、話し合ったり、役割を分担しながらやり遂げる喜びを味わう ・考えたことや感じたことなど、自信を持っているいろいろな方法で表現したりして、友達と工夫して園生活を楽しむ 																														
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・寒さに負けず戸外で十分体を動かして遊ぶ ・文字や数量を使った簡単なルールのある遊びを楽しむ ・目的を持ち自分なりに見通しを持って最後までやり遂げる ・グループの友達とルールを考えたり、役割を分担して遊ぶ ・同じ目的を持った友達と行動することを喜ぶ ・お互いに意見を出し合って遊びを進めるおもしろさを知る 																														
生活指導	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の健康に関心を持つ ・背中を伸ばして椅子に座ってよい姿勢をする ・今までに使ったロッカーや室内、室外をきれいにする 																														
遊び	<table border="0"> <tr> <td>(室内)</td> <td>(戸外)</td> </tr> <tr> <td>正月遊び</td> <td>あやとり 郵便ごっこ</td> </tr> <tr> <td>カルタ取り</td> <td>絵本作り 学校ごっこ</td> </tr> <tr> <td>すごろく</td> <td>劇場ごっこ 楽器あそび</td> </tr> <tr> <td>こままわし</td> <td>制作 たこ作り</td> </tr> <tr> <td>まりつき</td> <td>羽つき</td> </tr> <tr> <td>トランプ</td> <td>めいろゲーム</td> </tr> <tr> <td>ふくわらい</td> <td>鬼の面作り</td> </tr> </table> <table border="0"> <tr> <td>固定遊具</td> <td>ブランコ すべり台</td> </tr> <tr> <td></td> <td>登り棒 雲梯 鉄棒</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ロケットタイヤ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>たこあげ 縄跳び 竹馬</td> </tr> <tr> <td></td> <td>跳び箱 サッカー ドッジボール</td> </tr> <tr> <td></td> <td>砂遊び</td> </tr> <tr> <td></td> <td>飼育動物と遊ぶ(ウサギ チャボ カメ)</td> </tr> </table>	(室内)	(戸外)	正月遊び	あやとり 郵便ごっこ	カルタ取り	絵本作り 学校ごっこ	すごろく	劇場ごっこ 楽器あそび	こままわし	制作 たこ作り	まりつき	羽つき	トランプ	めいろゲーム	ふくわらい	鬼の面作り	固定遊具	ブランコ すべり台		登り棒 雲梯 鉄棒		ロケットタイヤ		たこあげ 縄跳び 竹馬		跳び箱 サッカー ドッジボール		砂遊び		飼育動物と遊ぶ(ウサギ チャボ カメ)
(室内)	(戸外)																														
正月遊び	あやとり 郵便ごっこ																														
カルタ取り	絵本作り 学校ごっこ																														
すごろく	劇場ごっこ 楽器あそび																														
こままわし	制作 たこ作り																														
まりつき	羽つき																														
トランプ	めいろゲーム																														
ふくわらい	鬼の面作り																														
固定遊具	ブランコ すべり台																														
	登り棒 雲梯 鉄棒																														
	ロケットタイヤ																														
	たこあげ 縄跳び 竹馬																														
	跳び箱 サッカー ドッジボール																														
	砂遊び																														
	飼育動物と遊ぶ(ウサギ チャボ カメ)																														
指導の要点	<ul style="list-style-type: none"> ・友達とのかかわりの中で共通の目的を持たせ、課題意識のある行動を行う中で成功の喜びを味わわせるようにする ・一人一人が自主的に行動がとれるような自覚を促す ・個又はグループで目的に向かって活動に取り組めるよう、それに適した用具、教材を準備する ・身近な物の整理が出来るようにする ・お互い力を出し合ったり、助け合ったりして仲間意識を高めるようにする 																														
行事	三学期始業式 おわかれ遠足 終了式																														

VII 研究のまとめと今後の課題

1 研究のまとめ

幼稚園生活を楽しく過ごす援助の工夫「自ら選ぶ活動をとおして」をテーマに理論研究や保育実践をすすめてきた。

幼稚園教育の基本は「～環境をとおして行う教育～」であると言われている中で、物的環境や人的環境の大切さを痛感した。

幼児が安定して楽しく園生活を過ごせるようにするには

- ・教師との信頼関係を早く確立させ、遊びをとおして幼児を理解する。
- ・遊びの中で豊かな経験が多様に出来るような環境をつくる。
- ・多くの友だちとかかわって活動が出来るようにする。
- ・教師の援助は必要な時に適切に行われるようにする。
- ・教師は幼児と共に活動し感動や共感をして、幼児の欲求を十分受けとめ安定した園生活が過ごせるようにする。

幼稚園における教育は、幼児がいろいろな活動に興味や関心をもって周りの環境に主体的、意欲的にかかわり、自発的に活動を展開していけるような援助の工夫を考えることが大切であることがわかった。

2 今後の課題

- ・教師は幼児の良き理解者となり、一人一人の特性に合った援助の方法を教師間で十分話し合い、共通理解してかかわるようにする。
- ・多くの友だちとかかわり楽しく遊べる環境作りに心がける。
- ・幼児の行動からその子の秘めた力を発見し、認め更に伸ばして行けるような援助を常に心がけるようにしていきたい。

幼児一人一人が楽しい園生活を過ごせるようにするには、教師や多くの友達とふれ合う中で自分の思いを十分だしてのびのび行動し、いろいろな体験が得られるよう援助したり、環境を幼児と共に創っていくことが大切である。

《参考文献》

- | | | |
|---------------|-------|----------|
| ・幼稚園教育指導書 増補版 | 文部省 | フレーベル館 |
| ・保育実践用語辞典 | 西久保礼造 | ぎょうせい |
| ・幼児の教育用語辞典 | 平井信義 | 教育出版株式会社 |
| ・幼児の発達理解と援助 | 柴崎正行 | チャイルド本社 |